

参加者：	大社高生（1年生12名、2年生6名） 島根県立大学生（4回生5名）	
日程：	13:50～ 授業参観（算数2年生、道徳4年生）	@荒木小
	14:45～ 授業にかかわるグループ協議	
	15:50～ 懇談会①「教員のシゴトのやりがいについて」	@大社高 有朋館
	懇談会②「新規採用の先生方へのエール」	



当日の様子：

生徒のみなさんにとっては実際の小学校の授業を教員の視点から参観させてもらう貴重な機会となりました。

当日は、算数（2年生）と道徳（4年生）の授業を参観し、そのあとは実際に授業された先生と、また4月から教壇に立たれる島根県立大学の4回生とグループ協議に参加しました。

また、そのあと大社高に移動して、荒木小と大社高の先生方にもグループ協議に入っただき、教員のシゴトのやりがいについて実際の経験談をふまえて話し合いをしました。以下、生徒のみなさんのふりかえり学習からの内容を抜粋します。

📌 指導案や板書の書き方まで考えておられることを初めて知り、授業でも流れに沿って進めていたところはすごいと思いました。時間も生徒に合わせて柔軟に考えることは大切だと思いました。

📌 授業を見学して、教員側の大変さをあらためて感じましたが、児童達とのやりとりや児童達の意欲的な学びを引き出すための発言などを間近で見ることでも自分もあの場に立ってみたいと言う気持ちが強くなりました。

📌 前までは、教師と聞くと大変なイメージしかなく、不安で少し興味があるくらいだったけど、現役の教師の方の話を聞いたりする中でももちろん大変なことも多いですが、やりがいをすごく感じられる仕事だということを感じることが出来ました。今は参加する前より教師に関する意欲が上がって良い経験ができたと思いました。

📌 教師はとても大変そうな職業で家の時間がないと思っていたけど大変な中にもやりがいや楽しさを見つけたり、仕事を工夫しながら働くことで生活も充実させることができる事がわかりました。

📌 （大社高での懇談会においては）荒木小での懇談会では自分では気づかなかったことに気づけた。大社高校での懇談会では先生、大学生、高校生の3つの立場によって教員に対しての考え方が違って面白かった。小学校は給食や掃除など子どもと関わる活動はすべて指導であるが、高校は進路実現を大きな目的としている。

📌 高校生の段階で、小学生の授業を見学したり、教職に就いている方と意見を交わしたりできるのは貴重なことだと思うので、大学に進んで教育実習などの時に今日感じた新鮮な学びを生かしていきたいと思います。